

<第4288回>

目的地：烏谷山～比良岳（比良）

担当者：今中

実施日：2022年9月11日（日）

形式：日帰りハイキング

費用：¥2,680.-

参加者：10名

天気：晴時々曇り

行程：

志賀駅(8:48)―荒川峠への登り口(9:55)―荒川峠(11:51)―(11:57)展望のきく広場〔昼食〕(12:20)―(12:40)烏谷山(12:55)―葛川峠(13:10)―(13:28)比良岳(13:41)―(14:01)木戸峠(14:10)―(14:31)打見山(14:50)―天狗杉(15:52)―(17:26)志賀駅〔解散〕

感想：

今日も良いお天気。9月も半ばに近づいていますが、志賀の駅を出ると焼けるような暑さです。木戸小学校の角を曲がり、真っすぐ集落を抜けていくと山が迫ってきます。林道に入り、志賀バイパスを潜って曲がりくねった道をしばらく行くと荒川峠への登り口。車道はここまで。休憩してから登山道を登り始めると汗はどんどん出てきます。樹林の谷道で風がなくけっこうキツイです。この道はちょっと単調です。先日来晴れた日が多かったせいか、心配したヒルには出会わず幸いでした。靴に「ジョニー」をふりかけてきましたが必要なようでした。荒川峠を左に折れて少し行ったところに展望のきく広場があり、ここで昼食。稜線は風がさわやかで、登りの間蒸し暑かったのがウソのようです。烏谷山で記念撮影。ここは視界が開け、琵琶湖はもちろん、武奈ヶ岳、堂満岳、さらに鈴鹿の山々など一望です。一旦大きく下ってから登り返し、「比良岳」と書かれた道標から少し西に入って本当の比良岳山頂。大木の洞に蜂がブンブン唸っていて、写真を撮って早々に先へ進む。木戸峠。ここを過ぎてしばらくいくとスキー場の登り。芝生の大きな登りは、見かけは楽そうですが、登るうちに傾斜がきつくなり、ひいひい言いながら登り切ったところでみんなへたり込みました。打見山に着くと観光客が一杯。汗臭い登山者は場違い？ トイレに寄ってからキタダカ道の長いジグザグを延々と歩いてようやく志賀駅に着きました。夏山のあとあまり歩いていなかったので良いトレーニングになりました。

特記：

今回は利用しませんでした。琵琶湖バレイロープウェイは片道1,900円といささか、たかうございます。疲れたからといって簡単には利用しにくいかもしれませんね。